

大館西道路側道が開通

— 交通渋滞緩和に期待 —

建設省能代工事事務所が元年度から建設を進めてきた大館西道路側道の開通式が三月二十八日に行われました。開通式では、テープカットが行われたほかくす玉を割って側道の開通を祝った後、工事関係者らが渡り初めを行いました。



建設省は、元年度から高規格道大館西道路とその側道の建設を進めてきました。大館西道路は根下戸新町を起点とし、商人留に至る延長六・二四キロ、幅員二十二メートル、四車線の自動車専用道路として建設を進めているもので、もともと、国道七号線大館西バイパスとして計画されましたが、その後、高規格道路に格上げされました。大館西道路の高規格道路上げに伴い、側道は国道七号線のバイパス機能をもつ道路として建設されたものです。大館西道路側道は、大館西道路に沿って、片山三



丁目地内の国道七号線交差点から長木川側道橋を通り、沼館までの延長一・二九キロ、幅員十二メートル、二車線で片側に歩道が付設されています。この道路は開通に伴って建設省から市へ移管され、市道片山沼館線として市が管理します。

市では大館西道路側道の開通に合わせ、四年度からこの側道に接続する市道御成町沼館線の拡幅改良工事を進めてきました。この拡幅改良工事は今年度に予定している歩道などの設置を残してほぼ完了しています。大館西道路側道と市道御成町沼館線が結ばれたことによって、これまで、朝夕の交通渋滞を招いていた国道七号の市立総合病院前交差点や市役所前交差点を通らずに秋田、青森方面などに向かうことができます。また、大館西道路側道の開通によって市街地の交通渋滞の緩和が大いに期待されます。

完成 成章学校給食センター — 試食会を実施 —

6年9月から成章小学校敷地内に建設工事を進めていた成章学校給食センターが完成し、今年度から成章小・中学校で学校給食を実施します。



三月二十八日、今年度から学校給食を開始する成章小・中学校で、

給食の試食会が行われました。試食会でのメニューは、「カレースチュー」、「キャベツとリンゴのサラダ」、「イヨカン」。白衣に身を包んだ給食当番の児童たちは、緊張したおももちで盛り付けをしていました。また、初めて給食を経験した児童たちの間から、「おいしい」、「楽しい」という声がたくさん聞かれました。

成章学校給食センターは、建築面積二百六十四平方メートル、鉄骨平屋建てで、ちゅうぼう機器などを含めた総事業費は約一億五千六百万円。調理場は市内学校給食施設で初めてのドライシステムを採用しました。ドライシステムは、床がフローリングの防水式で、衛生面や給食調理員の健康管理と作業効率の点で優れています。また、市内では矢立小・中学校に次いで二例目の共同調理場方式を採用し、成章小・中学校の給食を調理し、配食します。共同調理場と成章小学校は渡り廊下で結ばれていて、成章中学校までは配食車で三分ぐらいの距離にあり、冷めないうちに配食できます。

市では学校給食未実施校を解消するため、六年度から三カ年におたる「学校給食施設整備計画」を策定しています。成章学校給食センターの建設は計画の初年度の事業で、七年度は下川沿地区、八年度には南地区に学校給食センターの建設を予定しています。